



令和4年6月26日(日)

12:00開演(11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始: 令和4年4月1日(金) 午前10時~

料金: 全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階後席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

- ・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。
- ・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。

・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただきます。

主催: 公益財団法人十四世六平太記念財団

協力: 一般社団法人喜多流職分会

後援: 品川区、品川区教育委員会

喜多流自主公演

令和四年六月

是 杜 清

界 若 経

白頭 長島 栗谷 充雄
栗谷 明生
茂

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00~午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

※新型コロナウイルス感染症の地域における動向や政府等の通告などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂する場合がございます。

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・感染防止のため、2階ラウンジでの飲食は短時間にてお済ませくださいようお願いいたします。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

当能楽堂は、政府、公益社団法人全国公立文化施設協会などのガイドラインに基づき、感染拡大防止のための対策ガイドラインを定めています。

なお、本ガイドラインの内容は、新型コロナウイルス感染症の地域における動向や専門家の意見などを踏まえ、必要に応じて適宜改訂を行うものとさせていただきますので、ご来場の前には当能楽堂HPにてご確認ください。

お客様におかれましても、ご自身の感染予防とともに周りのお客様にご配慮いただけますよう、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン
<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>

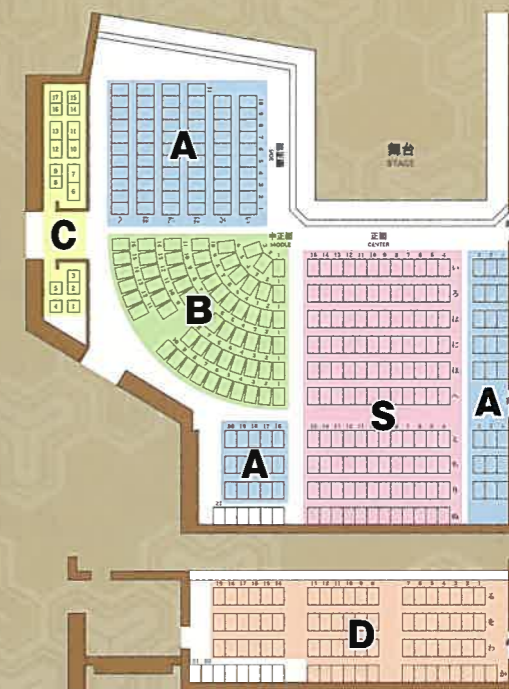


喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ・お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ・ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ・青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席 9,000円 C席(1階後席) 6,500円
A席 8,000円 D席(2階席) 6,500円
B席 7,000円 学生席(2階席) 2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車のご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>

六月自主公演番組

能

シテ連・清経の妻 佐藤 陽

シテ・平清経の霊 粟谷 充雄

清 経

ワキ 粟津三郎 則久 英志

後見 友枝 昭世
谷 大作

大鼓 亀井 洋佑
小鼓 曾和 伊喜夫 成田 寛人

金子 龍晟 友枝 真也
高林 昌司 友枝 雄人
佐藤 寛泰 中村 邦生
友枝 雄太郎 粟谷 浩之

休憩(二十分)

能

シテ・里女(杜若の精) 粟谷 明生

杜 若

ワキ 藤 福王 和幸

後見 塩津 哲生
松井 彬

大鼓 大倉 慶乃助 太鼓 金春 惣右衛門
小鼓 観世 新九郎 栗林 祐輔

友枝 雄太郎 高林 伸二
高林 昌司 金子 敬一郎
谷 友矩 大村 定
狩野 祐一 内田 成信

狂言

棒 縛

シテ・次郎冠者 山本 泰太郎

アド・主 山本 則重
アド・太郎冠者 山本 則秀

休憩(十分)

仕舞

大江 山

大村 定

粟谷 浩之
友枝 雄人
大島 政允
佐藤 陽

能

シテ連・太郎坊 大島 輝久

後シテ・同前
前シテ・是界坊

是 界

ワキ 比叡山の僧 工藤 和哉

白頭 野口 能弘
ワキ連・從僧 野口 琢弘
ワキ連・從僧 野口 琢弘

アイ・飯室僧正坊の能力 山本 則孝

大鼓 佃 良勝 太鼓 林 雄一郎
小鼓 森澤 勇司 笛 槻宅 聡

金子 龍晟 塩津 圭介
谷 友矩 狩野 了一
佐藤 陽 出雲 康雅
狩野 祐一 佐々木 多門

附祝言

後見 香川 靖嗣
内田 安信

終了予定時刻 五時二十分頃

清経(きよつね)

源平の戦で西国へ都落ちした清経の邸には、妻が寂しく留守を守っている。そこへ夫が入水したと知らせる使いの粟津三郎が来て、清経の遺髪を届ける。あきらめきれない妻は、死者に形見を手向け返すことにするが、泣き伏した妻のうたた寝の枕元に清経の霊が現れる。妻は戦死か病死ならともかく、自分を置き去りにして自殺をするとはと恨み嘆くので、夫は死の動機を物語って慰める。清経は追われる者の焦りと苛立、無益な抗戦への懐疑からついに死を決心し、ある夜、月を仰いで愛用の笛を吹き念仏を唱えて舟端から身を投げたのだった。死後、霊は修羅道に落ちて苦しんでいたのだが、念仏の功德で成仏することができた。

(約七十分)

杜若(かきつばた)

都から旅人が三河国八橋を訪れる。旅人が沢一面に咲く杜若に見惚れていると、里の女が現れ『伊勢物語』にある八橋の杜若の故事を語る。女は「からころもきつなれにしつましあればはるばるきぬるたびをしぞおもふ」の古歌を詠じ、在原業平が詠んだ歌だと教え、旅人をも自分の庵室へ案内する。《物着》やがて女は色鮮やかな装束に冠を着して現れる。装束は業平と契った高子の后のもの、冠は業平が宮中で五節の舞を舞ったときの物だと言ひ、自分は杜若の精だと告げる。杜若の精は『伊勢物語』の恋物語を舞いに舞ひ、夜が白むとともに姿を消した。

(約八十分)

棒縛(ぼうしばり)

留守にすると太郎冠者と次郎冠者が酒蔵の酒を盗み飲みするので困っていた主人は、ある時太郎冠者と次郎冠者を呼びつける。うまく騙して次郎冠者を棒に、太郎冠者を後ろ手に縛り付け安心した主人は出掛ける。不自由な格好で留守をするはめになった二人は色々と工夫を重ね、ついに酒にありつく。二人が騒がしく酒宴をしているところに、用事を終えた主人が戻ってくる。

(約二十五分)

是界(ぜがいはいくとう)

中国の天狗の首領是界坊は、今も盛んな日本の仏教を妨害しようとし、山伏姿で日本へやってくる。まず京都の愛宕山の天狗太郎坊を訪れ、その勧めで最初の目標を比叡山に定める。天狗たちは仏法の威力を思うと不安にもなるがともかく初志を貫こうと決意し、比叡山に向かつて立ち出る。《中入》比叡山の僧が勅命によって車で宮中に向かう行く手に正体を現した天狗の姿を見せ雲中から僧を威嚇する。しかし僧の法力に破れ、不動明王や天部諸尊をはじめ、仏法を守る日本の神々の吹き起こした神風に追われて退散する。

白頭の小書がつくと常の赤頭になり扮装も色無となる。全体に位が重くなり、謡に緩急の変化がつき重量感が強調される。

(約八十分)

令和四年 九月 自主公演番組予告

令和四年 九月二十五日(日) 正午始

十四世喜多六平太記念能楽堂

前売開始 令和四年七月一日(金) 午前十時

東岸居士 友枝 雄人
蝉丸 出雲 康雅
殺生石 粟谷 浩之